

# 平成28年度 町政執行方針 (要旨)

平成28年置戸町議会第2回定例会において、井上久男町長が示した町政執行への基本的な考え方についてお知らせします。



日本の人口減少社会の到来が、今後の日本経済に大きな影響を及ぼすことから、「まち・ひと・しごと創生法」の目指す活力ある地域社会の実現に向けて、国及び地方が一体となった地方創生の取り組みがスタートしました。

本町においても、人口減少に歯止めをかけるため、基幹産業を中心とした雇用創出や、若い世代が安心して子育てできる環境づくり、さらには、高齢者が安心して住み続けることができるまちづ

くりを進めてまいります。

本町における財政見通しは、人口減少や地域経済の縮小による町税の減少、地方交付税の別枠加算の廃止などにより、財源確保が厳しさを増しています。

平成28年度の予算編成にあたっては、財政の健全性の維持を念頭に、重要度・緊急度の高い事業の選択と重点化を優先し取り組むことといたしました。

## 活力あふれる豊かなまちづくり

**激**しい農業環境の中、本町の農業が持続可能な成長産業となるためには、意欲ある担い手の育成・確保と、農地の生産力・収益力を向上する体質強化が求められ、先進的取り組みとして、昨年に設立された「農事組合法人勝山グリーンファーム」をモデルとした新たな農業生産法人や、コントラクター事業の導入に向けて、農業者や農業団体など関係機関との連携を図りながら進めてまいります。

道営事業では、町内一円で実施している農業競争力強化基盤整備事業による区画整理、暗渠排水を中心に、農地の基盤整備を進めてまいります。農道整備特別対策事業で進めております町道春日川東線の改良工事は、舗装工事を残して完了の予定であります。

酪農関係では、効率的な飼料生産の推進を図るため、公社営事業による草地畜産整備事業に着手

いたします。

林業関係では、将来の担い手となる若年労働者の不足が懸念されている林業労働者対策として、担い手確保・通年雇用に向けた町独自の支援策を創設するため、関係団体との最終協議を進めてまいります。

商工業関係では、町内の空き店舗を活用し新規開業に係る改装費用などを支援する「置戸町未来の起業補助事業」及び町内の店舗、事務所などの改修を支援する「置戸町美しい商店街奨励事業」を継続して実施いたします。

観光関係では、町内唯一の温泉施設である交流促進センター「勝山温泉ゆうゆ」の改修工事に係る実施設計を終えました。今後は、経営主体の選考を行いながら、リニューアルオープンに向けた準備を進めてまいります。

## 安心して健やかに暮らせるまちづくり

**高**齢者等住宅改修費助成事業、緊急通報システム事業、安心カードの設置などにより、住宅環境の改善と緊急時の連絡体制の確立を図り、地域での見守り、助け合いなどのネットワーク構築に努め、安心して在宅生活を支援いたします。

置戸町社会福祉協議会が実施している小規模な通所介護事業は、制度改正に伴い本年4月から、市町村が指定する定員18人以下の地域密着型通所介護事業に移行します。引き続き安定的な運営ができるよう支援いたします。